

平成 29 年 7 月 18 日 (火)「居宅介護支援事業者連絡会と訪問看護ステーション連絡会との合同研修会」

参加者:ケアマネジャー 32 名 訪問看護師 17 名 合計 49

1. 講演「精神科訪問看護について」訪問看護ステーション デューン北大阪 白川氏

2. 意見交換

テーマ「介護支援専門員から訪問看護師に、訪問看護師から介護支援専門員に、聞きたいこと・伝えたいこと・提案したいこと」

・意見交換会

8グループに分かれ意見交換を行いました。

アンケート結果

ケアマネジャー:訪問看護師からいろんなアドバイスを頂き、解決できました。

- ・連携をとるためには、コミュニケーションが大切。コミュニケーションを円滑にするためには顔の見える関係が大切で、今後もこのような研修会が必要だと思います。

- ・介護と医療で感覚の相違があると思うので、それぞれの立場から気づきを話し合うことは大切なことだと感じた。

訪問看護師:介護支援専門員の方と話をすることで、他の仕事内容や考え方・思いを聞くことができてよかった。私自身も知ることができたので、訪問看護をしていく中でもっと多職種とつながっていけたらいいと思いました。

- ・普段話せないことの情報や思いを共有できるいい機会でした。

- ・ケアマネさんより訪問看護師の電話対応の悪さに恐縮してしまい次の言葉がでなくなり、聞きたいことも聞けなかったと話題にあがりました。連携の上では、特に訪看が医療で訪問する場合は、医療用語を使用せずその人がわかる言葉で共有することが重要と改めて感じました。

- ・このような機会が増えればスムーズな連携を行うことができ、利用者の方へさらに質の良いサービスにつながるのではないかと感じました。

他にもたくさんの意見がありました。今後も継続して顔の見える関係から、無理の言える関係へと連携が強化できるように研修会を継続していきたいと思います。

